

二〇一八年四月二七日

春愁やわが生ひ立ちと似しドラマ
口中に香りひろがる蓬餅
断層のしるき懸崖海つばめ
彩に酔ひ姿に愛でて牡丹園
薫風裡われと遊べや庭雀

治男
よう子
なつき
うつき
三刀

二〇一八年四月二六日

薔薇アーチ英国風の庭園に
子どもらは村の宝や鯉幟
川幅を跨ぎて並ぶ鯉幟
山寺の藁に泳ぐ鯉のぼり
濃やまぶき溪谷の瀬を明るうす

さつき
うつき
満天
よう子
やよい

二〇一八年四月二五日

亡き友を偲び池塘の春惜しむ
洩れ来るは校歌合唱若葉風
川下り舟頭の指す天つ藤

ぼんこ
満天
こすもす

二〇一八年四月二四日

走り根に吹き寄せられし花の蕊
谷戸の里四囲の山々笑ひ初む
落花舞ひやまざる寺の能舞台

智恵子
ともえ
愛正

二〇一八年四月二三日

初なりの親指ほどの苺食ぶ
老鶯の声弾きをる池鏡
隠沼の静寂を破り牛蛙

明日香
やよい
やよい

二〇一八年四月二二日

目印は桐の花なり里の道

やよい

二〇一八年四月二一日

純白の天使の像に囀れる

はく子

毎日句会みのある選・二〇一八年四月二九日